

「水戸市の小中一貫教育」とは

9年間を見通し、子どもの発達と学びの連続性を重視した系統的・継続的な指導を行っていく教育のことです。

※ 小中一貫教育は小学6年と中学1年の接続だけを意味しているのではありません。9年間を一つのステージとして、中学校区を単位に教育をすることがポイントです。

「施設分離型小中一貫教育推進校」とは

敷地、校舎が離れている小中学校が共通の目指す児童・生徒像を設定し、知徳体のバランスのとれた児童生徒を育むための方策等について共通理解を図り、学校を運営するものです。児童生徒が計画的に交流を行うとともに、小中学校の教職員が互いの学校を行き来し、一貫した教育を行います。

第三中学校区小中一貫教育活動

中学生による6年生への 中学校紹介	小中合同あいさつ運動	中学生による6年生への 部活動紹介
小中教職員による 合同研修会	小学校での奉仕作業 (中学校第2学年)	中学校生による新入生 保護者会での中学校紹介

平成24年度から、小中一貫教育校としての実践を積み重ねてきました。学びの広場への参加（中学生）や陸上競技や合唱、絵画の指導（中学教員）を通して、小中が協力して児童・生徒の教育に取り組んでいます。今年度も、第三中学校区4校の教職員が一緒になって、指導法の改善や児童・生徒理解に取り組んでいきます。